

2011年5月10日(火)

午前9:20～9:30

CRT 両毛支局(足利市)にて収録

1学期初めての定期テストで100点を取ろう

一教科書と授業ノート、学校の問題集、資料集をスミからスミまで「理解」し、スミからスミまで正確に身につけること(「定着」)で、誰でも100点が取れる一

開倫塾

塾長 林 明夫

<はじめに>

1. 「100点を取るぞ」と決意すること。

<100点を取る作戦を>

2. まずは定期テストで100点を取る作戦を立てよう。
(1) 作戦とは「手順(順序)」を考えること。

<まずは「理解」>

3. すべては「理解」から始まる。

(1) まずは「教科書」をスミからスミまで勉強する。一語一語ていねいに、ここに書かれていることはどのような意味かを考える。そして、ああこれはこのようなことかと「理解」する。

(2) ことばの意味がわからなかったら、「辞書」を引いてことばの意味を調べる。辞書で調べたことはノートに書き写し、その場ですべて覚える。

(3) 辞書を用いてもわからない「語句」や「内容」は、各科目の学年別参考書、できがふつうの科目は「ハイトップ」、よくできる科目は「チャート式」で調べる。参考書をじっくり読み、「理解」に努める。

(4) 「学校の授業中のノート」を、授業を思い出しながらも一度ゆっくり読み直す。これはこのようなことかと、ノートをスミからスミまで「理解」するように努める。

(5) 「学校の問題集」を全問もう一回ノートにやり直す。すべての問題を、なぜそのような解答になるのか「理解」するように努める。

(6)どうしてもできない問題は、学年別参考書を用いて調べてみる。それでもわからなければ、友達や先生に相談したり質問したりする。

〈「理解」したことは、スミからスミまで徹底的に覚える、身につける〉

4. 「定着」のための3大練習を。

(1)音読、音読、また、音読－音読練習を－

- ①「理解」したことは、スミからスミまで一語残らず覚えること。
- ②そのためには、音読練習が一番。

(2)書き取り、書き取り、また、書き取り－書き取り練習を－

- ①スミからスミまで覚えたことは全部、楷書で正確に書けるようになるまでにすること。
- ②そのためには、書き取り練習が一番。

(3)計算練習、問題練習を繰り返す。

- ①計算や問題を見た瞬間にパツ、パツ、パツと正解が出るまでにすること。
- ②練習がすべて。

〈練習は不可能を可能にする〉

5. 定期テストの100点は、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」で誰でも取れる。

(1)辞書と学年別参考書を使いこなし、徹底的に「理解」すること。

(2)「理解」したことは、「定着のための3大練習」で完全に身につけること。

(3)これだけで、誰でも定期テストで100点が取れる。やるか、やらないかは自由。本人の責任。あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開こう!!

— 2011年5月10日記 —